

広報 とうぶこうばん

東部交番だより

令和6年
5月号

松本警察署 東部交番
電話0263-35-3110

梅雨期の災害に備えて

6月頃になると梅雨前線の影響により、長雨や局地的な大雨となり、土砂崩れや河川の氾濫等の被害が発生しやすくなります。



【雨の強さ(1時間雨量)】

- 10～20ミリメートル(予報用語はやや強い雨)
ザーザーと降り、話し声がよく聞き取れない。
- 20～30ミリメートル(予報用語は強い雨)
いわゆる土砂降り、傘をさしても濡れてしまう。
- 30～50ミリメートル(予報用語は激しい雨)
バケツをひっくり返したかのように降り、道路が川のようになる。

【身を守り、財産被害を防ぐための留意事項】

- 危険な場所には近づかない
- 最新情報に注意し、防災機関の指示に従う
- 次の兆候があったら、早めに避難
 - 雨が降っているのに、川の水位が下がる。
 - 川の流れが濁り、流木が混じる。
 - 水が湧き出る。

● 日頃からの準備

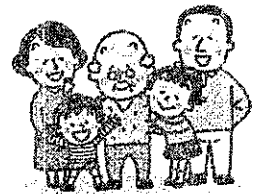


山菜採りの遭難防止



例年、4月から6月にかけて県内では山菜採り目的で入山し、道迷いや、急斜面での滑落により、死傷する遭難が多発しています。

- 1 入山場所と予定を家族等に伝えましょう。
- 2 携帯電話を持って行きましょう。
- 3 急斜面での滑落に注意しましょう。
- 4 単独での入山は避けましょう。
- 5 熊など野生動物に注意しましょう。



山菜採りは、探すことに夢中になるあまり、迷ったり、知らず知らずのうちに危険な場所に立ち入ってしまうことがあるため、多くのリスクをもたらします。

万が一に備えて、携帯電話、雨具、ヘッドライト、非常食・飲料などを必ず携行して下さい。